

科目名	機械工学ゼミナール	英語科目名	Mechanical Engineering Seminar	
開講年度・学期	2015年度・前後期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻機械工学コース1年	
授業形態	演習＋講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2	単位種類	学習単位(60h+30h)	
担当教員	原則として特別研究の指導教員	居室(もしくは所属)	機械工学科棟、専攻科棟4F	
電話		E-mail		
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件	
	1. 問題意識を持ち、自らその解決方を調査検討できること。	②	B	d-2, d-3, e, h
	2. 調査内容に基づいた討論・主張等を展開し、要点を整理できること	②	B	d-2, d-3, e, h
	3. 調査結果をまとめ、他人に説明できること。 (個別の詳細な到達目標はゼミナール毎に設定する)	②	B	d-2, d-3, e, h
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
到達目標1: テーマに関する適切な教材の入手および活用要領を評価し、60%以上の評価で達成とする。 到達目標2: 論理の展開に筋道を立て、要点を整理する能力を評価し、60%以上の評価で達成とする。 到達目標3: 発表方法を選択し、自分の主張を第三者に正しく伝えるコミュニケーション能力を評価し、60%以上の評価で達成とする。 (個別の詳細な評価方法はゼミナール毎に設定する)				
評価方法				
テーマに関する適切な教材の選択要領および理解度、発表方法・要領・内容について理論的、技術的観点から総合的に評価する。 (個別の詳細な評価方法はゼミナール毎に設定する)				
授業内容				
基本的には、特別研究の指導教員の下で実施する。 テーマ例は以下の通り。 1. 太陽電池の性能向上 2. 熱電変換素子の性能向上				
キーワード	材料特性、振動応答、太陽電池、福祉機器、熱電変換素子			
教科書	担当教員の指示による			
参考書	担当教員の指示による			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	輪講、卒業研究、輪講の内容に関連した科目			
現学年の関連科目	特別研究Ⅰ			
次年度以降の関連科目	特別研究Ⅱ			
連絡事項				
1. 配属された研究室の指導教員の下で、調査・討論・プレゼンテーション等を行う。 2. 外国の文献に親しみ、国際感覚を身に付けることも重要である。				
シラバス作成年月日	平成27年2月27日			